

# 東京都市大学 リカレントプログラム

# 大学リカレント

学び方改革  
を先導

6

## 理工系の教養学習証明

オンデマンド配信と対面授業を組み合わせたフレンド型授業を採用。100分授業を計7回実施する。対面授業は世田谷キャンパス（東京都世田谷区）と渋谷サテライトクラス（同渋谷区）で開く。1月からの講義では「ソフトウェア工学」など計17講座を用意し、計79人が参加した。

（石川侑弥）

東京都市大学リカレントプログラム 2024年度前期開講予定科目の一部	
スタートアップにおける事業開発ポイント	川邊 雄司 准教授
ソフトウェア工学	横山 孝典 教授
データサイエンス入門	河合 孝純 教授
UXデザイン	蓮池 公威 教授
情報セキュリティ入門	関 良明 教授
ヒューマンインタフェース特論	森 博彦 教授
持続可能な開発	佐藤 真久 教授

講義内容や担当講師を選び、23年11月に募集を始めた。24年度は6月に前期授業を開始するほか、オンデマンド動画の単体販売も始める。

東京都市大学は、社会人向けの学び直し（リカレント）プログラムを新たに1月から始めた。理工系分野の基本となる教養に焦点を当てた講義を用意する。対面で受講しやすい都心の教室も整備する。受講後には学習履歴やスキルを証明する「オープンバッジ」を取得でき、社会人のキャリア支援にも貢献する。

講義で得た知識やスキルを受講者が自身のキャリアに生かすサポートも欠かさない。ブロックチェーン（分散型台帳）技術で厳格に管理されたオープンバッジは、メール



リカレントプログラム受講者に授与されるオープンバッジ

講義の一つ「情報の署名欄やウェブ提出の履歴書、職務経歴書にも使えて、学習履歴をアピールできる。」  
や基本技術、暗号技術などをデザイン・データ科学部の関良明教授が教える。講義は大学の生涯キャリアのサポートをする方針。担当する学生支援部の住田暁弘部長は「通常は学生の就職支援をするキャリア支援がリカレント教育を担当するのは珍しい。キャリアアップも後押しできれば」と語る。

東京都市大学は、社会人のリカレント教育の需要の高まりを受け、学内にリカレント教育センターを2023年3月に設立し、リカレント教育を本格始動させた。